

光星 打力で圧倒

三本木、序盤の失点重く



【三本木―八学光星】2回裏、八学光星2死満塁、小淵が右翼線に走者一掃の適時二塁打を打ち、6―0と突き放す。捕手泉浩。八戸市長根公園

▽準々決勝(八戸市長根公園)
三本木 240010023
八学光星 2400211x10
(七回コールド)
(三)福田、長谷地―泉浩
(八)竹中、長南―齊藤
▽本塁打 小池(八)
▽三塁打 向中野(三) 長南(八)
▽二塁打 小池、小淵(八)

【評】八学光星は初回、2死一塁で走者小池が左越え2点本塁打を打ち、先制。二回は連続四球で好機をつくり、押し出しで追加点を挙げると、2死満塁で3番小淵が右方向に走者一掃の適時二塁打を打ち、6―0とリードを奪った。七回は10点目を奪ってコールド勝ちした。三本木は七回に3番向中野の適時三塁打などで2点を返し追い上げたが、序盤の失点が響いた。向中野、ミスから奮起

○…三本木は強豪校に力の差を見せつけられた形だが、七回に3番の主将向中野がセンターに適時三塁打を打ち、一矢報いた。「守備でミスがあったので、チームのために絶対ランナーをかえそうと思っていた」と話す。五回の守備、1死満塁のピンチで、高く上がった飛球が深い青空に溶け込んでしまった。中堅手の向中野はボールを見失い、2点を献上。それでも仲間たちに「元気をだせ」と励まされて奮起し、好機で名着挽回した。向中野は「夏まで時間はある。見えた課題を修正したい」と前を向いた。

長南はマウンドに上った四回、三四球で自ら満塁のピンチをつくり、単打を許し失点を喫した。「相手に『行けるぞ』という雰囲気を与えてしまつた。しっかりと反省して次につなげてほしい」と仲井監督。長南は「体全体の開きが早過ぎて制球が定まらなかった」と反省しきりだった。

春季
県高校野球
第3日

春季県高校野球選手権は第3日の21日、六戸マイプルと八戸市長根公園の2球場で準々決勝4試合を行った。聖愛は六回に逆転に成功、終盤は突き放して7―1で八戸西を下した。青森山田は青森東を接戦の末、振り切った。八工大―は7―1で弘前東に勝利。八学光星は三本木を10―3の七回コールドで圧倒した。大会第4日は27日、六戸マイプルで八工大―青森山田、八学光星―聖愛の準決勝を行い、勝利校は東北大会出場が決まる。(本紙取材班)

工大――山田高
4強 27日激突
光星―聖愛